

令和6年度第2回熊本県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和7年2月19日（水）10：00～11：30

場所：熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎B棟2階

議事

1 労働局長あいさつ

2 議題

（1）令和6年度における公的職業訓練実施状況について

熊本県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部より、令和6年度（12月末まで）の公共職業訓練、求職者支援訓練に係る受講者数、開講コースの充足率、就職率などの実施状況について説明を行った。

また、公共職業訓練、求職者支援訓練の分野別におけるコース数、定員、受講者数、応募倍率、定員充足率、就職率等の分析結果についても併せて説明を行った。

（2）令和7年度における熊本県地域職業訓練実施計画（案）について

熊本県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部、熊本労働局より、令和7年度熊本県地域職業訓練実施計画（案）について説明を行った。

（3）訓練効果の把握・検証等を実施する訓練分野の選定（案）について

熊本労働局より、令和7年度における訓練効果の把握・検証等を実施する分野の選定（案）について、対象分野及び選定理由等について説明を行った。

（4）その他、意見交換

委員より出された主な意見・要望及び回答について

〈令和7年度熊本県地域職業訓練実施計画（案）について〉

- ・半導体関連の人材育成について、求人者と求職者のニーズを合わせておく必要があると思う。訓練内容等を外向けにアナウンスする必要があると思うが、どのようなカリキュラムとなっているのか。

☞ポリテクセンター熊本において、令和4年度から6年度にかけて約120人

が半導体関係に就職している。企業数としては62社となっている。職務内容については、約7割が装置メンテナンスで、それ以外の2割は環境管理と浄水設備保全となっている。装置メンテナンスが非常に需要が高い状況である。

- ☞ 県立技術短期大学校の半導体技術科については、令和6年4月から開設しており、学生からの応募も好調に推移している。半導体関係の集積に伴って学生の興味も高まっている認識している。
- ・ 職業能力開発にかかるイベントの開催等について、色んな広報やイベントを開催されるのか。
- ☞ 広報については、ホームページ、LINE、Instagram等を活用して、引き続き工夫しながら情報発信していく。イベント開催については、関係機関が開催するイベントにも参加しつつ、独自のイベントについては中央職業能力開発促進協議会で提供される他局の好事例も参考にしながら実施を検討したい。
- ・ 少子高齢化により外国人労働者が増加・活躍している中において、在留資格による制限もあると思うが留学生も含む外国人の就労の枠組みを見直す等の議論も必要ではないか。

〈その他・意見交換〉

- ・ 令和5年度の公的職業訓練の分析において、就職率が高く、応募倍率が低い分野として「介護・医療・福祉分野」「IT分野」、また、応募倍率が高く、就職率が低い分野として「営業・販売・事務分野」「デザイン分野」とあるが、いわゆる求人者ニーズと応募する側のニーズにミスマッチあると思える。高校生の産業教育の中で、職業について何をやっているのか知らない。営業・販売・事務などは対面で見ているが、介護・医療・福祉やIT関係などは中身を知らないまま応募が足りていない状況があるのではないか。業界においてどのような職業があり、待遇がどうなのか分かったうえで応募しているのか。応募者が持っている知識だけで応募している状況なのか。職業について知る機会がないのか。産業界と各機関の対話等はすごく進んでおり、産業界の色んな面白い取り組み等の実情がもっと広がるとマッチングの解消にもつながるのではないか。
- ☞ 求職者が訓練説明会に参加することにより、どういう資格が取得できるか、どういう再就職先があるのか、どういう仕事出来るか確認することが出来る。また、ハローワーク職員に対しても知識向上のため訓練説明会に参加するよう指示している。また、職業を知ることについては、「Job

Tag」等のツールを活用して、仕事の内容等を知ることが出来るミスマッチ解消につながると考える。

- ・介護福祉の分野から、魅力を発信する事業として、小・中・高校生・大学生向けに出前講座等を実施している。求職者の相談件数が激減しており、SNSを活用した相談も始めている。福祉の方にも目を向けてもらえるような事業展開を行っている。

【協議会承認事項】

・「令和7年度熊本県地域職業訓練実施計画(案)」については、再提案の上、承認を得た。

・「訓練効果の把握・検証等を実施する訓練分野の選定(案)」については、提案内容のとおり承認を得た。